

さっぽろの学童保育号外ニュース

2010.2.26

発行 札幌市連協

738-7764

2月22日
文教委員会

陳情を採択

陳情項目

登録拡大4年生も助成対象
10名未満の学童クラブへ
の年度内助成継続

採択されたらどうなるの？

議会で市民の要望が採択されるということは、札幌市民の代表である議員が賛成したということで、札幌市の市政の内容になっていきます。ただ、この財政難の時に、どういうふうに予算化されるのか、もう一山越える運動はしなければなりません。

札幌市
定例会市議会でも回答

2月22日・23日の各会派からの代表質問事項に
民主党・自民党・共産党が「学童保育」について
質問してくれました。

民間児童育成会の助成対象を4年生に拡大することについて

回答； 現在は3年生までだが、この学年拡大は望ましい方向なので、実施にあたって、施設面をはじめ指導内容などそれにふさわしいものにするための課題を整理していく。また、民間に関しては、これらを踏まえ、留守家庭児童対策全体のバランスなどを考慮しながら、実施内容について検討してまいりたい。

10人未満の民間児童育成会への年度内事業継続

回答； 児童や保護者の不安解消という点からどのような形で年度内の運営を支援していくのか、関係団体とも協議しながら検討してまいりたい。

これらの要求は現在市議会に対して78,000人を超える署名を添えた陳情が本市議会に提出され審議中だが、市長は、この課題での議会の意思をどう受けとめておられるのか、議会の意思を尊重する旨、あらためて明らかにしてほしい。

回答； 今後議会の意思が明らかにされたときは、それに対して真摯に受けとめて参りたいと考えております。

26日の文教委員会では、公明党、改革維新の会が賛成の立場から発言してくださいました。市民ネットの議員さんは、「あらためて強調しないけれど、保護者が自分たちの意思で運営しているところに共感できるから、これからもがんばって」と声をかけて下さいました。

お礼と喜びの気持ち
を伝えて！！

陳情項目に賛同して署名をくださった方へ。
地域で懇談に応じて下さった議員さんへ。全ての議員へ

要望の実現は、保護者・指導員の
運動が岩を動かしましたね。

3月9日(火)の
代表者会議で今後を